



2018年10月25日

保育・子育てに関する予算を増やし

公的保育を守り、安心できる保育・学童保育の実現を求める請願書

犬山市議会議長

ヒアンキ・アンソニー 殿

請願団体 犬山市保育を守る会

請願代表者

住所

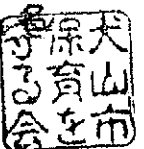
氏名

紹介議員

岡村千里
岡 亮



1154
以下 1238



請願主旨

いま、全国的に待機児童問題に対応するため、保育施設が守るべき基準を切り下げて、保育の量を増やそうとする動きがあり、子どもの命や安全、発達が脅かされています。

また、保育を支える職員の労働環境も悪化し、保育士不足が深刻化しています。このままでは、保育・学童保育の機能が十分発揮されず、誰もが安心して子育てでき、子どもの権利が守られる社会の実現は困難です。

犬山市では、保育士不足以外にも、保育・学童保育をめぐる、保育環境の改善、保護者負担の軽減、過疎地の学童保育問題など、早急に解決が求められる課題を抱えています。児童クラブについては、児童センターから小学校に移動が始まっていますが、環境が十分に整っていないため、子ども達からも不満の声が上がっています。また、公立保育園は施設の老朽化が進み、子どもの怪我の原因にもなっています。老朽カ所については早急な修理、整備が必要です。

平成31年4月には、犬山市初の企業主導型保育園が計画されています。企業主導型保育園は、市を通さず入園できるため、今後企業主導型保育園が増えると、市が把握できない子どもが増える事が心配されます。

これまで、犬山市では、『犬山の子は犬山で守る』保育を大切にしてきました。

安心できる保育・学童保育を実現するために、犬山市として積極的な取り組みを進めるよう、以下の項目を請願します。

取り扱い団体

犬山市保育を守る会
犬山市職員労働組合

hoiku.mamoru@gmail.com

62-4141

